

埼玉県知事 上田清司 様
埼玉県教育委員会教育長 前島富雄 様
埼玉県議会議長 鈴木聖二 様

埼玉の子どもたちを放射線被曝から守りたい

福島原発の事故以来、小さな子どもを抱えた親は、不安な思いを抱いて過ごしています。未来を担う子どもたちの命と健康を守るため、埼玉県は早急に以下のことに取り組んでくださるよう、強く要望いたします。

1. 県内の保育園・幼稚園・小中高等学校、学童保育所、公園や運動場など、子どもたちに関わるすべての公共施設の放射線を毎日測定し、情報を公開するようお願いします。
2. 上記の公共施設の土壌について、定期・継続的な測定を実施するとともに、その結果を公表してください。
3. 放射性物質による外部被曝から子どもたちを守るために、上記の公共施設において線量低減対策の実施をお願いします。
4. 放射線に対し、感受性が強い子どもたちに対しては、一般人の被曝限度線量1ミリシーベルトを超えないようにする必要があります。年間1ミリシーベルトを超えた場合には、光化学スモッグ注意報のように注意喚起をしてください。
5. 年間1ミリシーベルトを超える場所や、測定ができていない場所での活動を、中止または延期してください。(修学旅行や林間学校なども含む)
6. 保護者が母乳の放射線物質含有検査を希望する場合は、無料で実施するようお願いします。
7. 保育園、幼稚園、小中学校の給食からの内部被曝をできる限り避けるため、使用する食材の情報公開、放射性物質含有量の調査とそれに基づく放射性物質の低減努力をお願いします。
8. 子どもたちへの低線量被曝症状の実態調査と調査結果の公開、及び放射線専門家による子どもたちへの定期健診の実施をお願いします。

以上

5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会 さいたま 代表 西内 良子
埼玉の子どもたちを放射線被曝から守る会 代表 谷瀬 綾子
他〇〇〇名